

News Letter

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
YAMANASHI NETWORK
FOR DIVERSITY & INNOVATION

Vol.8 2022年9月発行

ご報告 令和4年度 ダイバーシティマネジメント研修会を開催しました

令和4年7月14日(木)、大村智記念学術館において、令和4年度ダイバーシティマネジメント研修会を開催・配信しました。今回の研修会では、株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチの佐々木常夫代表をお招きし、「組織として成果をあげるためのメンター制度とマネジメント」と題してご講演いただきました。

佐々木代表は、ご自身のこれまでの人生経験から、タイムマネジメントがすべての基本であり、仕事は計画的・効率的に行い、時間を有効活用することが重要であると述べられました。さらに今回のテーマであるメンター制度導入の手順を紹介し、上司とは別に入職歴の近い先輩職員がメンター(指導者・助言者)となり、若手職員の職場での悩みなど、精神面をサポートすることで、モチベーションの向上、離職の防止に効果が期待できると説明されました。

この研修会には、学内外合わせて104名が参加しました。参加者からは、「佐々木先生のお話がとても面白くあつという間だった。仕事のやり方も今後参考にさせていただきたい」「組織のマネジメントを行う上でのメンター制度を導入する理由と評価の方法について、ぶれない考えを持って今後対応していきたい」などの感想が寄せられ、有意義な研修会となりました。



ご報告 令和4年度 第1回スキルアップセミナー「Online Seminar for Writing Academic papers in English」を開催しました

令和4年6月28日(火)、オンラインにて、第1回スキルアップセミナー“Online Seminar for Writing Academic papers in English”を開催しました。英文校正エナゴの協力を得て、Dr. Daniel Kotaを講師として招聘しました。

セミナーでは、“How to Prepare Impressive Research Presentations”と題して、プレゼンテーション作成時のよくある間違いや印象的なプレゼンテーションを行うための戦略等についてご教授いただきました。

このセミナーには、学内外合わせて97名(セミナー後の視聴も含む)が参加しました。参加者の皆さんからは、「解説が分かりやすく、今後に生かせると思った」「プレゼン資料の作り方だけでなく、プレゼンのパフォーマンスや発表とQ&Aの時間構成なども意見を聴けたことは新鮮な気付きだった」「英語の勉強にもなり有意義だった」などの感想をいただきました。



ご報告 第6回Coの花支援を実施しました

山梨大学では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入の減少など経済的に困窮する本学女子学生に、生理用品を配布しました。本事業は、経済的負担軽減を図り、女子学生の快適な暮らしを守ることを目的に実施したものです。

第6回目となる今回は、7月25日(月)から7月29日(金)まで甲府キャンパスおよび医学部キャンパスにて実施し、留学生を含む学生12名に生理用品一袋を手渡しました。

訪れた学生からは、「収入が減ってしまっているの、非常に助かります。ありがとうございます」とコメントがありました。本学では今後も継続して、Coの花支援を実施していきます。



ご報告 令和4年度 第1回次世代リーダー育成企画 「女性社長対談」を開催しました

令和4年7月20日(水)、オンラインにて、第1回次世代リーダー育成企画「女性社長対談」を開催し、学内外合わせて41名が参加しました。これは、経営者と座談会形式で語りながら、女性社長自らのキャリアロールモデルを学び、女性活躍についての考えを深める講演会として開催したものです。

今回は、講師として一般社団法人星つむぎの村の高橋真理子代表をお招きしました。一般社団法人星つむぎの村では、本物の星空を見ることが難しい方にプラネタリウムを見せる活動を行っており、今回はその中でもメインの活動である、障がいや重い病気を患い、星を見ることが難しい子どもたちに星空を届ける「病院がプラネタリウム」の活動について紹介しました。

高橋代表は、「参加者から「生きる意味を見出すことができた」と感想をいただくこともある。星を見ることがその人を生かしていくきっかけになったり、生きていく上で支えになったりすることがあると感じた。人は自分や他者、社会とつながることで幸せを見出ししていくが、星や自然とつながることでも幸せを見出すことができる」と語りました。また、女性として事業を立ち上げた経営者の観点から、「自分を好きでいるにはどんなことができるのか、どんな自分でありたいかを考え抜くことが大切。そこには必ず仕事がある」と話しました。

参加者からは、「女性社長対談のタイトルからイメージしていた内容とは異なり、感動した。制度をつくれれば必ず境界線ができるという言葉に同感した」「決断したら後悔しないと決めて行動する、実践しようと思う」などの感想が寄せられ、実りある講演会となりました。



お知らせ 令和4年度 山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞 (優秀賞・奨励賞)の公募について



令和4年度「山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞」を公募いたします。本奨励賞は女性研究者の研究意欲をさらに高めること、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者を育成すること、本学の男女共同参画を促進することを目的として実施しております。

【対象者】 表彰は、本学に所属する女性研究者(大学院生・研究員を含む。)又は本学の女性研究者を研究代表者とする研究グループで、次の各号に掲げる賞の区分に応じて行うものとします。

■優秀賞: 教育研究のマネジメントにおいて優れた業績を挙げたと認められる個人、又は、学術上優れた研究成果を挙げたと認められる個人、若しくは研究グループ。

(個人又は研究グループの研究代表者には、大学院生及び研究員は含まない。)

■奨励賞: 40歳未満の若手研究者又は博士取得後8年未満(ただし、産休・育休期間を除く。)で、優れた研究成果を挙げることが期待されると認められる個人、若しくは研究グループ。

【公募期間】 令和4年7月19日(火)～令和4年9月30日(金)

【提出書類】 ・山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞 推薦書
・表彰の対象となる事項に係る資料等(該当資料がある場合)

【提出方法】 推薦者は、候補者に関する上述の提出書類を下記のメールアドレスまでお送りください。関連する参考資料等がメールに添付できない場合は、男女共同参画推進室まで学内便にてお送りください。

E-mail: danjo@yamanashi.ac.jp

※詳しい実施要項、推薦要項等はHP (<https://diver-danjo.yamanashi.ac.jp/>) をご覧ください。